

2017年12月27日

日立オートモティブシステムズ株式会社

車載通信網における情報処理の高効率化と通信情報の高信頼化に寄与する セントラルゲートウェイがスズキの車両向けに初採用され、全面改良した スズキの新型「スペーシア」および「スペーシア カスタム」に搭載

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)が開発した、車載通信網における情報処理の高効率化と通信情報の高信頼化に寄与するセントラルゲートウェイが、スズキ株式会社(代表取締役社長:鈴木 俊宏/以下、スズキ)の車両向けに初採用され、スズキより2017年12月から全面改良して販売開始されたハイトワゴンタイプの軽乗用車、新型「スペーシア」および「スペーシア カスタム」に搭載されます。

近年、自動車における電子制御化の進展とともに、車両1台あたりのECU(Electronic Control Unit:電子制御ユニット)の搭載数が増加し、併せてECUで処理する情報量も増大しています。それに伴い、複数のECU間をつなぐ通信網も複雑化しており、車載通信網における情報処理の高効率化に加え、通信情報の高信頼化が求められています。

今回、スズキの新型「スペーシア」および「スペーシア カスタム」に搭載される当社のセントラルゲートウェイは、複数のECU間で通信される大量の情報を中継機能として監視し、必要とされるデータのみをECUに転送することで、車載通信網における情報処理の高効率化と通信情報の高信頼化に寄与します。

なお、日立オートモティブシステムズは、より高度な自動運転システムやインフラなどの外界とつながるコネクテッドカーの実現に向けて、今回開発したセントラルゲートウェイの機能を今後さらに拡張させていく予定です。

今後も日立オートモティブシステムズは、優位性のあるエレクトロニクス技術を生かした高信頼な製品の提供を通じて、「人・クルマ・社会」に新たな価値を創造します。



全面改良したスズキの新型「スペーシア」「スペーシア カスタム」
(写真はスペーシア「HYBRID X」)



セントラルゲートウェイ

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以上